

## 川井良介教授の退任記念号に寄せて

本学コミュニケーション学部教授、川井良介先生は、定年を迎え、2018年3月に本学を退職されました。諸般の事情が重なり、通例より大きく遅延してしまいましたが、ここに先生の記念号として『コミュニケーション科学』を発刊することは、学部を代表する者として大きな喜びです。

川井先生は、専業非常勤講師生活をされていた1983年度に本学経済学部で非常勤講師を務められ、また、前任校にお勤めであった1996年からは、前年1995年に開設されたコミュニケーション学部で非常勤講師を務められました。先生が専任教員としてコミュニケーション学部に着任されたのは、2001年4月でしたが、これは1999年に学部を基礎を置く大学院研究科として開設されたコミュニケーション学研究科修士課程の上に、博士課程が開設された際に、大学院科目を担当する教授陣の充実を図る取り組みの一環として招聘されてのことでした。以降17年間にわたって、先生は大学院で後進の指導にあたられました。この間、コミュニケーション学研究科委員長を3期6年間にわたって務められ、学生指導上の制度面の整備などに注力されました。

その一方で先生は、学部でも、ご専門の「出版論」を専門科目として担当されるとともに、コミュニケーション学部1年生の必修科目（後の履修必修科目）「コミュニケーション論入門」や、全学共通教育科目「コミュニケーション論 a/b」など、コミュニケーション論の入門講義的な科目を長く担当されました。先生は、自作の教科書『教材 社会的コミュニケーション』をこうした入門授業で活用され、また、本学に着任されてからも数次にわたって更なる改訂をされました。私も数年間にわたり、先生とクラス分けのペアを組んで、先生の教科書で「コミュニケーション論入門」を担当する機会がありましたが、教科書改訂の取り組みも、先生の教育熱心な姿勢の現れであったのだと思います。

先生のご専門は出版論です。『コミュニケーション科学』にも、第22号（2005年）の「現代マガジンの特徴」、第41号（2015年）の「ベストセラーリストの考察」などを寄稿されました。2006年には編著『出版メディア入門』を上梓され、2012年にはその改訂版を刊行されました。また、2008年から2014年まで日本出版学会の会長を務められました。

このように、川井先生は、教育、研究の両面において、コミュニケーション学部、および、コミュニケーション学研究科の運営に尽力され、また学界にも大きく貢献されました。後輩同僚として、また、現在の学部教授陣を代表して、そのご恩に深く感謝し、敬意を表すところです。川井先生、まことにありがとうございました。

コミュニケーション学部長 山田晴通

# 年譜ならびに主要業績

## 生年月日

1947年5月27日，東京都渋谷区に生まれる

## 学歴

- 1960年3月 東京都渋谷区立幡代小学校卒業
- 1963年3月 東京都渋谷区立代々木中学校卒業
- 1966年3月 東京都立神代高校卒業
- 1972年3月 明治大学商学部商学科卒業（商学士）
- 1976年3月 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻修士課程修了（政治学修士）
- 1979年3月 上智大学大学院文学研究科新聞学専攻博士課程単位取得満期退学

## 職歴

- 1979年4月 法政大学文学部非常勤講師（～1990年3月）
- 1980年4月 筑波大学第二学群比較文化学類非常勤講師（～1981年3月）
- 1981年4月 明治大学政治経済学部非常勤講師（～1994年3月）
- 1983年4月 東京経済大学経済学部非常勤講師（～1984年3月）
- 1988年4月 立教大学社会学部非常勤講師（～1989年3月）
- 1990年4月 青山学院大学法学部非常勤講師（～1992年3月）
- 1990年12月 大学設置・学校法人審議会教員組織審査（山梨英和短期大学情報文化学科助教）適格判定
- 1991年4月 山梨英和短期大学情報文化学科助教（～1997年3月）
- 1994年4月 跡見学園女子大学文学部非常勤講師（～1997年3月）
- 1994年4月 放送大学非常勤講師（～1997年3月）
- 1994年9月 大学設置・学校法人審議会教員組織審査（東京経済大学コミュニケーション学部非常勤講師）適格判定
- 1996年4月 東京経済大学コミュニケーション学部非常勤講師（～2001年3月）
- 1997年4月 山梨英和短期大学情報文化学科教授（～2001年3月）
- 1998年9月 大学設置・学校法人審議会教員組織審査（東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科非常勤講師）適格判定
- 1999年4月 山梨英和短期大学情報文化科学科長（～2001年3月）
- 1999年9月 東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科修士課程非常勤講師（～

## 年譜ならびに主要業績

2001年3月)

- 2001年4月 東京経済大学コミュニケーション学部教授（～2018年3月）
- 2003年4月 立教大学社会学部非常勤講師（～2004年3月）
- 2008年4月 東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科委員長（～2014年3月）
- 2014年4月 東京女子大学現代教養学部非常勤講師（～2018年3月）

## 主な社会的活動

- 1983年3月 東京都「文化行政シンポジウム 情報化の進展と都市生活を考える」〈ニューメディアと地域社会〉のパネリスト
- 1993年11月 「マス・メディアと女性」山梨県教育委員会「やまなしウィメンズカレッジ」
- 1995年6月 講演「90年代の出版産業」社団法人日本印刷技術協会
- 1997年8月 甲府市消費者問題懇話会委員（～1999年3月）
- 1998年10月 「女性雑誌の現在」山梨県教育委員会「やまなしウィメンズカレッジ」
- 1999年10月 「女性とメディア」山梨県教育委員会「やまなしウィメンズカレッジ」
- 2002年1月 上智大学大学院文学研究科 箕輪成男の学位論文審査委員会の委員
- 2011年11月 財団法人吉川英治国民文化振興会 最初の評議員選考委員会の委員
- 2018年1月 東京都立多摩図書館「東京マガジンバンク」蔵書評価委員（～2019年3月）

## 主要な学会活動

- 日本出版学会理事（1984年4月～2014年4月）
- 日本出版学会会長（2008年5月～2014年4月）
- 日本出版学会顧問（2014年5月～）
- 日本インターンシップ学会理事（2006年10月～2009年9月）

## 主要な学内役職

- 大学院コミュニケーション学研究科委員長（2008年4月～2014年3月）
- 大学院FD会議議長（2016年4月～2017年3月）
- 体育会ハンドボール部部长（2005年4月～2018年3月）

## 著書

- 『社会と行動の諸問題』（共著）人間の科学社，1976年7月
- 山本明・藤竹暁編『図説 日本のマス・コミュニケーション』（共著）日本放送出版協会，

1980年3月

- 和田洋一編『新聞学を学ぶ人のために』（共著）世界思想社，1980年12月
- 中野渡信行編『社会心理学』（共著）中央経済社，1982年11月
- 内川芳美・森泉章編『法とジャーナリズム』（共著）日本評論社，1983年10月
- 『Japan's Mass Media』（共著）Foreign Press Center/Japan，1986年3月
- 香内三郎・山本武利編『現代メディア論』（共著）新曜社，1987年4月
- 山本明・藤竹暁編『図説 日本のマス・コミュニケーション 第2版』（共著）日本放送出版協会，1987年6月
- 『世論とマス・コミュニケーション』（単著）ブレーン出版，1987年7月
- 稲葉三千男・新井直之・桂敬一編『新版 新聞学』（共著）日本評論社，1988年9月
- 『文章作法の手引』（共著）エモーチオ 21，1993年3月
- 山本明・藤竹暁編『図説 日本のマス・コミュニケーション 第3版』（共著）日本放送出版協会，1994年3月
- 稲葉三千男・新井直之・桂敬一編『新聞学 第3版』（共著）日本評論社，1995年4月
- アクロス編集室編『マニアの世界』（共著）パルコ出版，1995年7月
- 産業学会編『戦後日本産業史』（共著）東洋経済新報社，1995年11月
- 日本出版学会編『出版の検証』（共著）文化通信社，1996年12月
- 天野勝文・松岡新児・植田康夫編『現代マスコミ論のポイント』（共著）学文社，1999年5月
- 藤竹暁編『現代のエスプリ別冊 流行／ファッション』（共著）至文堂，2000年6月
- 藤竹暁編『図説 日本のマスメディア』（共著）日本放送出版協会，2000年10月
- 『アエラムック 新マスコミ学がわかる』（共著）朝日新聞社，2001年11月
- 天野勝文・松岡新児・植田康夫編『現代マスコミ論のポイント 第2版』（共著）学文社，2002年4月
- 田村紀雄編『コミュニケーション学入門』（共著）NTT出版，2003年5月
- 天野勝文・松岡新児・植田康夫編『新現代マスコミ論のポイント』（共著）学文社，2004年4月
- 東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科編『日本の国際情報発信』（共著）芙蓉書房出版，2004年5月
- 日本出版学会編『白書出版産業』（共著）文化通信社，2004年5月
- 藤竹暁編『図説 日本のマスメディア 第2版』（共著）日本放送出版協会，2005年9月
- 『出版メディア入門』（編著）日本評論社，2006年9月
- 日本出版学会編『出版学の現在』（共著）朝陽会，2008年4月
- 早川善治郎編『新版 概説マス・コミュニケーション』学文社，2010年4月

## 年譜ならびに主要業績

- 日本出版学会編『白書出版産業 2010』（共著）文化通信社，2010年9月  
『出版メディア入門 第2版』（編著）日本評論社，2012年6月  
藤竹暁編『図説 日本のメディア』（共著）NHK出版，2012年9月  
《日本出版学会編》王萍・曾美芳・薛炜『日本出版产业』译林出版社，2015年3月

## 学術論文

- 「戦前期の即売ルート」『出版研究』No.8, 1977年12月  
「戦時広告の事例的研究」『コミュニケーション研究』No.11, (上智大学), 1978年12月  
「献納広告に関する若干の考察」『政経論叢』Vol.51, No.5, 6, (明治大学), 1983年3月  
「『出版』を科学するために」『総合ジャーナリズム研究』夏号, 1987年7月  
「雑誌の概念と類型（上）」『出版研究』No.23, 1993年3月  
「雑誌の概念と類型（中）」『出版研究』No.24, 1994年3月  
「90年代の出版産業」『マス・コミュニケーション研究』No.45, 1994年7月  
「戦後雑誌の判型」『山梨英和短期大学紀要』第30号, 1996年12月  
「90年代出版ジャーナリズムの見取り図」『マス・コミュニケーション研究』No.51, 1997年7月  
「雑誌の刊行形態」『山梨英和短期大学紀要』第31号, 1997年12月  
「戦後雑誌におけるジャンル別点数・部数の推移」『出版研究』No.29, 1999年3月  
「雑誌のメディア特性」『山梨英和短期大学紀要』第33号, 2000年3月  
「90年代の雑誌研究」『出版研究』No.32, 2002年3月  
「『マガジンデータ』にみる雑誌の現在」『出版ニュース』1月上・中旬号, 2005年1月  
「現代マガジンの特徴」『コミュニケーション科学』No.22, 2005年3月  
「現代日本の雑誌出版」『出版研究』No.35, 2005年3月  
「The Current State of the Japanese Magazine Publishing」『コミュニケーション科学』No.24, 2006年3月  
「現代日本的雑誌出版」（中文）『コミュニケーション科学』No.24, 2006年3月  
「ベストセラーリストの考察」『コミュニケーション科学』No.41, 2015年3月

## 研究ノート

- 「日本における出版教育」国際シンポジウム予稿集『コミュニケーションとしての出版』2006年10月  
「概観 日本の出版教育」（中文）『河南大学学报』2007年3月  
「日本における出版教育」『東京経済大学学術研究センター年報』2006年度・第7号  
「日本のベストセラー（予備的研究）」『第14回 国際出版学術会議』中国編輯学会, 2010

年 5 月

「ベストセラーリストの分析 (予備的研究)」『第 15 回 国際出版研究フォーラム』2012 年

10 月

#### 学会発表

1977 年 4 月 「即売ルートの歴史」日本出版学会春季研究発表会

1978 年 10 月 「終戦直後における新聞の即売ルート」日本新聞学会秋季研究発表会

1990 年 5 月 「現代マス・マガジンの特徴」日本出版学会春季研究発表会

1995 年 5 月 「出版の産業化」日本出版学会春季研究発表会

1997 年 5 月 「戦後雑誌の動向」日本出版学会春季研究発表会

2004 年 10 月 「日本の雑誌出版」第 11 回 国際出版研究フォーラム (中国・武漢)

2006 年 10 月 「日本における出版教育」第 12 回 国際出版研究フォーラム (東京)

2010 年 5 月 「日本のベストセラー」第 14 回 国際出版研究フォーラム (中国・南京)

2012 年 10 月 「ベストセラーリストの分析」第 15 回 国際出版研究フォーラム (東京)

#### 教材刊行

『教材 社会的コミュニケーション』おうふう 2008 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 2 版』おうふう 2009 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 3 版』おうふう 2010 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 4 版』おうふう 2011 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 5 版』おうふう 2012 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 6 版』おうふう 2013 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 7 版』おうふう 2014 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 8 版』おうふう 2015 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 9 版』おうふう 2016 年 4 月

『教材 社会的コミュニケーション 第 10 版』(私家版) 国分寺プレス 2017 年 4 月

#### ゼミナール論集

東京経済大学コミュニケーション学部川井ゼミナール研究報告集『メディアと社会』第 1 号, 2004 年 3 月

東京経済大学コミュニケーション学部川井ゼミナール研究報告集『メディアと社会』第 2 号, 2005 年 4 月

年譜ならびに主要業績

## 書評

- 「日本エディタースクール編『本の誕生—編集の現場から』」「成瀬伸次『マスコミの仕事師たち』」「植田康夫『編集者になるには』」（『週刊読書人』1982年1月）
- 「箕輪成男『消費としての出版』」（『季刊 知識』第32号, 1983年11月）
- 「J. E. モーパール著, 行方昭夫訳『ペンギン・ブックス』」（『週刊読書人』1989年6月）
- 「鈴木治雄他『企業人の読書日記』」「池内紀他『快著会読』」「森毅『僕の選んだ105冊』」「杉原四郎『読書流紋』」「山崎浩一『書物観光』」（『週刊読書人』1990年9月）
- 「ジョン・フェザー著, 箕輪成男訳『イギリス出版史』」（『週刊読書人』1991年8月）
- 「岩崎勝海追悼集刊行委員会編『言論に理性を出版に文化を——岩崎勝海の仕事と生き方』」（『週刊読書人』2002年10月）
- 「森彰英『音羽の杜の遺伝子』」（『週刊読書人』2003年8月）
- 「新海均『カッパ・ブックスの時代』」（『東京新聞』2013年8月11日）
- 「森彰英・『週刊読書人』取材チーム『本ってなんだったっけ?』」（『東京新聞』2014年1月14日）
- 「齋藤孝『コミュニケーション力』東京経済大学コミュニケーション学部監修『コミュニケーション学がわかるガイドブック』NTT出版 2014年2月

## 事典・辞典

- 『高校現代社会小事典』三省堂, 1983年
- 『平凡社大百科事典』平凡社, 1985年
- 『現代実用外来語辞典』ぎょうせい, 1985年
- 『日本大百科全書』小学館, 1986~1988年
- 『コミュニケーション事典』平凡社, 1988年
- 『大衆文化事典』弘文堂, 1991年
- 『日本歴史大事典』小学館, 2000年
- 『日本大百科全書 電子版』小学館, 2002~2003年
- 『明治時代史大辞典』吉川弘文館, 2012~2013年

## 年鑑

- 『文藝年鑑 昭和58年度版』1983年
- 『文藝年鑑 昭和59年度版』1984年
- 『文藝年鑑 昭和61年度版』1986年
- 『文藝年鑑 昭和62年度版』1987年



## エッセイ

- 「読書の復権」『公評』1981年7月号  
「女子大生の発見」『公評』1981年11月号  
「現代っ子とテレビ」『中学生のお母さん』1983年2月号  
「新書か受験参考書か」『本』1987年9月号  
「新聞を読むための基礎知識」『望星』1989年6月号  
「読書」『90春季賃金交渉資料』1990年  
「テレビのニュース項目の選択の基準は何か」『放送レポート』1991年11/12月号  
「大学生の出版研究1」『日本出版学会会報』No. 87, 1996年1月  
「学生に読ませる試み必要」『文化通信』2004年10月18日付  
「雑誌の研究」『瀬下塾ジャーナル』No.1, 2007年1月  
「私の出版研究」『出版ニュース』2008年7月中旬号  
「印刷と出版の深い関係」『印刷雑誌』2008年11月号  
「創立40周年を迎える日本出版学会」『出版クラブだより』2008年12月号  
「出版研究における武者修行で得たもの」東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科編『大学院で学ぶコミュニケーション学』東京経済大学大学院コミュニケーション学研究科2012年7月  
「新しいアイデアは読書から」『かきの実』No. 49, 2017年7月

## パネル

- 「本の歴史と名作年表」(図書館用掲示パネル)(未央社)1981年5月

## 新聞・雑誌の刊行

- 1972年1月『紫紺』(人物紹介紙)創刊(～2号)  
1973年7月『あんふあん渋谷』(タウン誌)創刊(～3号)

## メディア露出

- 1973年9月「安・不安」(『あんふあん渋谷』について)『朝日新聞』(22日付夕刊)  
1992年3月「かつて夕刊紙戦国時代があった」におけるコメント『サライ』(3月19日号)  
1993年3月「竜王町の中学生刺殺事件／新聞報道を比較研究／英和短大生」『朝日新聞山梨県版』(31日付)  
1994年3月「気に入くわないと雲隠れ／ただのわがままか／それとも小沢一郎は『天照大臣』か」におけるコメント『週刊朝日』(3月25日号)



年譜ならびに主要業績

- 1999年 1月 「日本のウソ⑩夕刊紙は『大マスコミ』でないのか」におけるコメント  
『サンデー毎日』（1月3・10日号）
- 2004年 3月 「週刊文春差し止め問題」で「NHK NC21」に出演（19日）
- 2004年 4月 「大学ゼミナール訪問 第4回 東京経済大学コミュニケーション学部 川井  
良介ゼミ」『編集会議』4月号
- 2004年 5月 「雑誌『印刷』部数公表へ／水増し『公称』やめます」におけるコメント  
『朝日新聞』（16日付）
- 2008年 3月 「自衛官書類送検／報道の自由に影響」で「NHK おはよう日本」に出演  
（27日）